



食べたものが、
わたしになる。

いただきます

みそをつくる マコもたち

劇場版



しあわせは、食卓のなかにある。笑って、泣いて、ほっこり癒される
子育てエンターテイメント・ドキュメンタリー！

ナレーション：石田ゆり子 エンディングテーマ：坂本美雨 with CANTUS

プロデューサー：安武信吾 監督・撮影：オオタヴィン

平成30年 3月21日 (水・祝) 午前：10:30~ 午後：14:00~

「いただきます」 「その後のはなちゃんのみそ汁」上映会

MIRAIEリアン コミュニティホール七間町 (七間町通り・東宝横)

大人¥1,000 (当日券 ¥1,200) 中高生¥500 小学生以下無料

お申し込み▶ 「いただきます」静岡自主上映実行委員会 050-5326-3719 詳しくは裏面をご覧ください



よく食べ、よく遊ぶ、元気な子どもに育てたい。子育てのヒント満載のエンターテイメント。

福岡県、高取保育園。そこには、まるでタイムトリップしたような、懐かしい日本の子育てがありました。裸足で駆け回り、竹馬で遊び、自分たちが飲むみそ汁のみそを毎月100キロつくる子どもたち。元気な子どもに育てるヒントにあふれています。

エネルギーの源は、医食同源に基づいた、みそ汁、納豆、玄米、旬の野菜を中心にした和食の給食です。

ドラマや映画化もされたベストセラー「はなちゃんのみそ汁」のはなちゃんが通いみそづくりと出会った高取保育園、ここに「はなちゃんのみそ汁」の原点があります。

高取保育園は、アレルギーという言葉がまだない1968年に開園。増え続けるアレルギー園児の解決策を食のあり方に探り、アレルギーを改善していきます。アレルギー・アトピーのお子さんを持つお母さんは必見です。

神奈川県、まっつ畑保育園も、30年前から和食給食を導入。ふたつの保育園の育児からみえてくるのは、古きよき日本の食卓がつくるこどもらしいたくましい命です。

発酵学の第一人者である小泉武夫東京農業大学名誉教授の知見や、予防医学者 奥田昌子の遺伝子研究の成果から、先人たちの食の英知を現代人のための健康思想として浮かび上がらせます。ナレーションの石田ゆり子のやわらかな声が、子どもたちの成長をあたたかく包み、エンディングテーマの坂本美雨の歌声が、子守唄のようにやさしく響きます。

公開18ヶ月、口コミだけで全国45県にまで広がった、笑って、泣いて、ほっこり癒される、子育てエンターテイメント！全国の劇場で公開された「劇場版」が自主上映開始です。

(いただきます劇場版 75分)



毎月100キロのみそをつくる五歳園児



220名、毎食、残食ゼロ！そのヒミツは？

観客のみなさんの声

- ★ ジーンとききました。これから母になります。こどもを産む前に観られてよかった！ 20代女性
- ★ 子どもたちの姿に、心がほかほかして元気が出ました。40歳女性
- ★ いのち、医食同源、超元気な子どもたちの表情がすべて語ってくれていると思いました。日本人の知恵が詰まっています ♡53歳 主婦
- ★ あたたかく、かわいく、オシャレな映画！ 大学生女性
- ★ 映画がはじまってからずっと、しあわせな涙が止まりませんでした。子育てをやり直したい！ 49歳 主婦



- ★ この映画で語られていることは、すごく当たり前のことで、すごく根源的なことで、すごく大切なこと。一青窈
- ★ 小さな奇跡のリアリティ。うちの子供達も感心してた。うわあ美味しそうな連続。 U A
- ★ 普段、気づかない手や足のクローズアップに、子供を見つめる監督の深いまなざしを感じた。弁当の日提唱者 竹下和男
- ★ 高取保育園の子どもたちは、日本一しあわせな子どもたちだと思います。小泉武夫
- ★ こどもたちが可愛くて可愛くて、胸がキュンとなります。むしょうに、おみそ汁が飲みたくなりますよ。石田ゆり子



予告編は、[YOUTUBE](https://www.youtube.com/watch?v=itadakimasu-miso) ホームページをご覧ください。「いただきます みそ」で検索。itadakimasu-miso.jp

【問い合わせ・申し込み】 チケットの申し込みは、電話またはメールQRコードからお問い合わせください。

- ▶ 電話:050-5326-3719
 - ▶ メール:shizuoka2017movie@gmail.com
- 主催:「いただきます」静岡自主上映実行委員会



協賛: NPO 法人静岡県食育協会 / ふじみ歯並びクリニック / ラクタス / オンラインサロンシェアライフ /
 アヴォートル サンテ / 学童保育のプチふぁみ / 株式会社ティー・アール・ダブリュー / ライフワーク / 楽しみそ / Second SUN
 後援: 静岡市/静岡県(予定)/静岡市番町市民活動センター